

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学 会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年5月 福島県立医科大学会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座
新妻一直

【研究課題名】 誤嚥性肺炎の指標としてのBAL中のアミラーゼ、ペプシンとリパーゼの検出についての検討

【研究期間】 2017年6月～2021年5月

【研究の意義・目的】

肺炎の約70%が誤嚥性肺炎と言われていますが、誤嚥性肺炎の診断は非常に困難です。当院では、肺炎患者で起炎菌が不明の場合や確定診断が困難な場合には気管支鏡検査を行い、起炎菌検索を行っています。誤嚥性肺炎には、嚥下機能低下の関与が明らかですが、胃食道逆流も原因となることが報告されています。病変部からの肺胞洗浄液（BALF）または、マイクロサンプリングにて得られた検体のアミラーゼ、ペプシンが誤嚥の指標になるという報告があります。胃食道逆流には腸液も関与している可能性があり、膵臓から分泌される消化酵素のリパーゼも誤嚥性肺炎の指標になり得ると考えられます。このため、マイクロサンプリングで得られた検体もしくはBALF中のアミラーゼ、ペプシン、リパーゼを測定し肺炎に対する誤嚥の関与を検討する。

【研究の対象となる方】

1. 2014年6月～2017年5月に、会津医療センター附属病院 感染症・呼吸器内科において、気管支鏡検査を受けた肺疾患の患者さん。
2. 2017年6月以降に会津医療センター附属病院 感染症・呼吸器内科に入院した肺疾患の患者さんで、本研究参加に同意した方。

【研究の方法】

上記1の対象者の、当院内に保管されている気管支鏡検査で得られた気管支肺胞洗浄液を用い、アミラーゼ、リパーゼおよびペプシンを測定します。

上記2の対象者の気管支鏡検査で得られた気管支鏡肺胞洗浄液、血清を提供いただき、アミラーゼ、リパーゼ及びペプシンを測定します。

【研究組織】

研究責任者	会津医療センター感染症・呼吸器内科学講座	教授	新妻一直
研究分担者	会津医療センター感染症・呼吸器内科学講座	准教授	齋藤美和子
	〃	准教授	鈴木朋子
	福島県立医科大学 呼吸器内科	助教	峯村浩之
	〃	助手	小泉達彦
	〃	病院助手	梅田隆志
	〃	病院助手	川俣貴也
	〃	病院助手	力丸真美

【他の機関等への試料等の提供について】

該当なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21-2
公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座
担当 齋藤美和子・鈴木朋子
電話:0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568
E-mail:suzukito@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21-2
公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座
担当 齋藤美和子・鈴木朋子
電話:0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568
E-mail:suzukito@fmu.ac.jp